



九州環境エネルギー産業推進機構 (K-RIP)

K-RIP 情報

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-13-24

Vol.2 #2017

(一財)九州産業技術センター内

<https://k-rip.gr.jp>

TEL: 092-474-0042

FAX: 092-472-6609



「K-RIP 会員による環境ビジネス業務提携調印式」平成 30 年 3 月 23 日
～新たな市場を目指して キヨモトグループと (株) くりんか が業務提携～

《Contents》	《Page》
I. ビジネスマッチング交流会事業 (展示会支援)	2～3
II. ビジネスマッチング・販路開拓支援	3～4
III. ASEAN 環境エネルギー産業交流事業	5～8
IV. 異業種ネットワーク構築と人脈形成の場「エコ塾」	9～15
V. 個別プロジェクト支援事業 (環境エネルギー研究会)	16～19
VI. 平成 29 年度 K-RIP プロジェクト完了報告会	20

I. ビジネスマッチング交流会事業（展示会）

環境エネルギー関連の地域中核企業創出を支援するため、国内の関連展示会への会員企業の出展を支援し、技術シーズの発信やビジネスマッチングの機会創出を図りました。

平成 29 年度は、エコテクノ 2017（北九州市）、びわ湖環境ビジネスメッセ 2017（滋賀県長浜市）、次世代農業 EXPO（農業ワールド 2017）（幕張メッセ）の出展を支援し、プレゼン・商談会を実施しました。本年度の出展会員企業は下記の通りです。

1. 北九州市「エコテクノ2017」

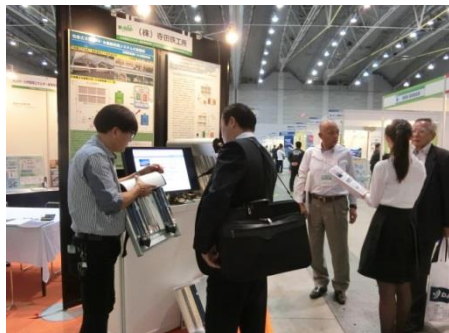
10 月 11 日からの 3 日間、西日本総合展示場新館で開催された「エコテクノ 2017」へ出展、下記 3 社の出展支援を実施しました。

【開催日時】平成 29 年 10 月 11 日（水）～13 日（金） 3 日間

【会 場】西日本総合展示場新館（北九州市小倉北区浅野 3-8-1）

【出展支援企業及び出展内容】

- ・株式会社寺田鉄工所（広島） 太陽熱集熱器、太陽熱温水器
- ・篠田株式会社（岐阜県） 木質バイオマスガス化発電システム等
- ・株式会社熊本清掃社（熊本県） 食品残渣リサイクル事業



エコテクノ 2017（北九州）風景

2. 農業ワールド EXP02017

10 月 11 日から三日間、幕張メッセにて開催された農業生産と流通技術等の専門展示会「農業ワールド 2017」に出展し、下記 3 社への出展支援を実施しました。

【開催日時】平成 29 年 10 月 11 日（水）～10 月 13 日（金） 3 日間

【開催場所】千葉県・幕張メッセ

【出展支援企業及び出展内容】

- ・株式会社宮防（宮崎県） 畜産用遮熱塗料
- ・株式会社西部技研（福岡県） 農業用 CO2 分離回収装置
- ・株式会社アステック入江（福岡県） 塩化鉄余剰液の農業利用



3. びわ湖環境ビジネスメッセ 2017

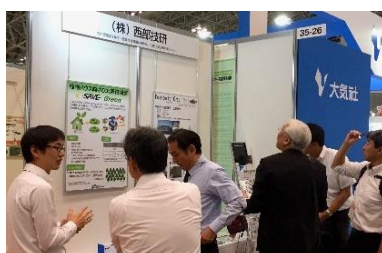
西日本最大級の環境産業展示会「びわ湖環境ビジネスメッセ 2017」に出展、下記3社の出展支援を実施しました。

【開催日程】平成29年10月18日(水)～10月20日(金) 3日間

【開催場所】滋賀県長浜市 長浜バイオ大学ドーム

【出展支援企業及び出展内容】

- ・福岡建設合材株式会社(熊本県) 地産地消灰処理システム
- ・富士エネルギー株式会社(鹿児島県) 真空ガラス管形太陽集熱器
- ・バイオマスリサーチ(北海道) バイオマス活用コンサルティング



II. ビジネスマッチング・販路開拓支援

「広域アライアンスマッチング」による各地方局との連携による連携先・販路開拓をはじめ、プロジェクトマネージャー、コーディネーターによる新たな市場や異分野における販路開拓の支援を図りました。

環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー

中核企業候補が九州域内で不足するリソースを補完するため、他地域の支援機関とのネットワークを活用し、九州域外の企業との個別商談会等を行う「環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー」を実施しました。

これまで連携を図ってきた関東、近畿、沖縄地域に加え、連携地域を中部地域にも拡大し、各地域のコーディネーターによるマッチングのサポートを実施しました。

1. イン九州

【開催日時】平成 29 年 10 月 12 日（金）13 時～17 時

【開催場所】エコテクノ 2017 会場内

【プレゼン企業】6 社（関東 2 社、近畿 1 社、中国 2 社、沖縄 1 社）

千原商工(株)(兵庫)、(株)染めQテクノロジー(茨城)、
ワイズグローバルビジョン(株)(東京)、(株)ジオパワーシステム(山口)、
周南水処理(株)(山口)、(一社)沖縄県環境・エネルギー研究開発機構

【商談件数】40 件



2. イン近畿（滋賀）

【開催日時】平成 29 年 10 月 19 日（水）14 時～16 時 30 分

【会 場】びわ湖環境メッセ展示場 2 階 特設会場

【プレゼン企業】篠田株式会社

【商談件数】2 件

3. イン関東（エコプロ2017）

【開催日時】平成 29 年 12 月 7 日(木)～9 日（土）10 時～18 時

【会 場】東京ビッグサイト東ホール

【プレゼン企業】株式会社エコファクトリー

【商談件数】1 件

4. イン沖縄

【開催日時】平成 29 年 12 月 12 日(火)13 時～15 時

【会 場】沖縄セルラーパーク那覇 ※第 8 回オキナワベンチャーマーケット会場内

【プレゼン企業】株式会社寺田鉄工所

【商談件数】12 件

5. イン関東（川崎）

【開催日時】平成 30 年 2 月 2 日(金)13 時 40 分～15 時 40 分

【会 場】川崎国際環境技術展 2017 会場内

【プレゼン企業】株式会社システム・ジェイディー

【商談件数】3 件

Ⅲ. ASEAN 環境エネルギー産業交流事業

K-RIP は昨年度までの ASEAN 地域へのミッション派遣等を踏まえ、本年度は、台湾、ベトナムにビジネスミッションを実施するとともに、タイにおいても九州企業の海外へのビジネス展開や環境プロジェクト参画の機会創出を目的としたニーズ調査等を実施しました。

1. 台湾 環境エネルギーミッション団の派遣(台北市・高雄市)

【出張目的】 環境プロジェクト組成のための現地関係機関とのネットワーク構築

中核企業に対する環境プロジェクト組成とフォロー(官民協議の実施)

【日 程】 平成 29 年 10 月 30 日(月)～11 月 3 日(土)

【参加者】 九州経済産業局 資源エネルギー環境課 山田参事官、清水調査官

九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP) 嶋田統括マネジャー

現地コーディネーター兼通訳: 藤岡トシ子、黄滄儀

K-RIP 会員企業① 協和環境科技(深圳) 昌副総経理、永潤経理

② (株) くりんか 榎木副社長

③ (株) システム・ジェイディー 伊達社長

④ (株) 福岡建設合材 福岡社長、西里部長

日程	用務(訪問先)	都市名
10/30 (月)	※移動(福岡→桃園空港→台北) ◇TJPO と事前打ち合わせ ◇日本台湾交流協会台北事務所 経済部	台北市
10/31 (火)	★行政院 経貿談判弁公室 (交流協会同行) ★經濟部工業局 (交流協会同行) ◇財団法人中技社 ◇台湾資源再生協会 ※移動(台北→高雄)	台北市 新北市 高雄市
11/1(水)	◇高雄市経済発展局 ◇セミナー&商談会	高雄市
11/2(木)	★中華民国対外貿易発展協会(TAITRA)高雄 ◇財団法人農業科技研究院 ※公式ミッション終了 帰国組移動(高雄→桃園)	高雄市 桃園市
11/3(金)	※個別訪問チーム移動(高雄→桃園) ◇台湾鉄塔股份有限公司 ※移動(桃園→台北) ◇台湾電力公司	桃園市 台北市



中華民国行政院訪問



台日循環産業セミナー・商談会

2. ベトナム環境エネルギーPJ 組成のためのミッション団派遣(ホーチミン市)

【出張目的】 環境プロジェクト組成のための現地関係機関とのネットワーク構築
中核企業に対する環境プロジェクト組成とフォロー(官民協議の実施)

【日 程】 平成29年 11 月 26 日(日)～12 月 2 日(土)

【参加者】 九州経済産業局 資源エネルギー環境課 山田参事官
九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP) 嶋田統括マネジャー
現地コーディネーター兼通訳 Dinh Ngoc Quy 氏

K-RIP 会員企業:① 協和機電工業(株) 小林マネジャー

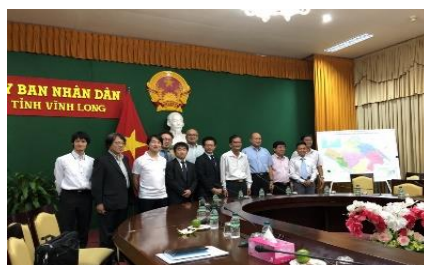
② (株) くりんか 榎木副社長 ③ (株) ファームネット 香取代表

④ (株) 丸和バイオケミカル 清水常務取締役、加藤部長

⑤ ワイズグローバルビジョン(株) 柳瀬社長

⑥ 長崎県立大学 経営学部 江崎教授

日程	用務 (訪問先)	都市名
11 月 26 日 (日)	※移動(福岡→ホーチミン) 11:00 福岡発→22:30 ホーチミン着	ホーチミン市
11 月 27 日 (月)	◇JICA ホーチミン訪問 ◇ホーチミン市水産局訪問 ◇CITENCO 訪問 ※移動(ホーチミン→ヴィンロン省)	ホーチミン市 ヴィンロン省
11 月 28 日 (火)	◇ヴィンロン省人民委員会訪問 ◇ヴィンロン省関係部門へのプレゼン&意見交換 ◇協和機電ベトナム訪問 ※移動(ヴィンロン省→ホーチミン)	ヴィンロン省 ホーチミン市
11 月 29 日 (水)	◇企業マッチング① Construction Corporation No.1 - JSC. ◇企業マッチング② Architects & Construction Service Corp.(ACSC)	ホーチミン市
11 月 30 日 (木)	◇ホーチミン工科大学 (協和機電実証機視察) ◇MOU 締結式	ビンズオン省 ホーチミン市
12 月 1 日 (金)	◇企業マッチング③ Vietnam Environment Mechanical JSC. ◇企業マッチング④ SAIGON FOOD JSC. ※2日移動(ホーチミン→福岡 3日着)	ホーチミン市



3. タイ 現地調査ミッション団派遣(バンコク市)

【出張目的】環境プロジェクト組成のための現地関係機関とのネットワーク構築、情報収集(現地調査)

環境プロジェクト組成に向けた協議(官民協議の実施)

【日 程】平成30年2月25日(日)～3月2日(金)

【参加者】九州経済産業局 資源エネルギー環境課 山田参事官、岡田専門官

九州環境エネルギー産業推進機構 嶋田統括マネージャー

K-RIP 会員企業:

<環境>(株) くりんか 榎木副社長

(株)アステック入江 FM 事業部 小森氏

(株)福岡建設合材 西里部長

<商社>東京産業タイランド 藤田社長(兼現地 CD)

<学術>長崎県立大学 江崎教授

日程	用務(訪問先)	都市名
2月25日(日)	※移動(福岡→バンコク) ◇バンコクスワンナプーム空港→バンコク市内	バンコク
2月26日(月)	◇NEDO バンコク事務所 訪問 ◇福岡県バンコク事務所 訪問 ◇Pollution Control Department (PCD/公害管理局)訪問 ◇盤谷日本人商工会議所	バンコク
2月27日(火)	◇日本国大使館 訪問 ◇JICA タイ事務所 訪問 ①Fractal-Thailand Co.,Ltd. ②Virogreen	バンコク
2月28日(水)	◇タイ投資委員会(BOI) 訪問 ◇タイ王国発電公社(EGAT) 訪問 ◇Waste Management Siam	バンコク
3月1日(木)	◇近畿経済局、Team E-KANSAI 等との意見交換	バンコク
3月2日(金)	◇TN グループ ◇バンコク銀行 ◇SIAM CEMENT GROUP 3月3日(土) 移動、帰国	バンコク



天然資源省公害管理局



タイ投資委員会



Waste Management Siam Ltd

4. ベトナム 環境プロジェクト・ハンズオン出張（ホーチミン市）

【日程】 平成30年1月9日（火）～1月12日（金）

【参加者】 協和機電工業(株) 小林マネージャー 協和機電ベトナム 尾上社長、ロン氏
 (株)くりんか 榎木副社長
 九州環境エネルギー産業推進機構 嶋田統括マネージャー
 現地コーディネーター兼通訳 クイ氏 (Ban Viet Corp.)

日程	用務(訪問先)
1月10日(水)	◇Construction Corporation No.1 - JSC (CC1) 訪問 AM: × 協和機電工業・協和機電ベトナム PM: × (株)くりんか
1月11日(木)	◇Vietnam Environment Machanical JSC (VMECO) 訪問 AM: × 協和機電工業・協和機電ベトナム ◇Phat Global Mineral Build Investment JSC 訪問 PM: × (株)くりんか
1月12日(金)	◇Hai Nam Co.,Ltd. 訪問 ◇CTY CO PHAN TOAN HAI THINH 訪問

1月9日(火)と1月13日(土)は移動日



〔Construction 社との協議〕



〔PhatGlobal 社と NDA 締結〕



〔CTY CO 社との協議〕

IV. 異業種ネットワーク構築と人脈形成の場「エコ塾」

会員企業間の交流を促進させるため、環境エネルギー関連ビジネスに取り組む企業や、環境ビジネスを支援する団体等によるプレゼンテーションと、交流会からなるエコ塾を開催しています。今回は、大分、熊本、長崎、佐賀などで開催した、第110回～第114回までの概要を報告します。

第110回 エコ塾 in 大分『水素エネルギーの未来と地域企業のビジネスチャンス』

【開催日時】平成29年11月9日(木) 14:30～17:20

【開催場所】ホルトホール大分 303会議室

【参加者数】講演会:39名 交流会: 19名

【基調講演】

〔テーマ〕「水素エネルギーの意義と国内外動向」

〔講師〕デロイトトーマツコンサルティング(同) パブリックセクター 執行役員 庵原 一水 氏

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「CO2フリー水素の普及に向けた水素活用型EMSの取組について」

〔発表者〕(株)正興電機製作所 新規事業開発推進部 担当部長 河野 明彦 氏

〔概要〕電力系統の監視制御システムや電機設備、再生可能エネルギー分野の製品や EPC 等の事業で培った当社のノウハウを活用した「CO2フリー水素の普及に向けた水素活用型EMS」への取組事例を紹介。また、昨年度、福岡市東区奈多で行った「塩分濃度差による水素製造システム」の実験の概要についても紹介しました。

〔テーマ〕「水素可視化システム～水素エネルギーのフェイルセーフをサポート～」

〔発表者〕九州計測器(株) 新事業推進室 室長 田中 武海 氏

〔概要〕1973 年創業の弊社は、必要な計測データをシステムアップで解決・提案する「技術商社」です。2006 年に九州大学との共同研究をきっかけに、「簡単に水素漏れを確認できないか」という保全現場のニーズに応え、「水素可視化シート」の製品開発および 2011 年に販売を開始、さらに多点計測技術と融合させた「水素可視化システム」を 2015 年に販売開始いたしました。ISAS/JAXA の次世代ロケットへの採用等、水素エネルギーのフェイルセーフを支える計測システムとし今後も訴求してまいります。

〔テーマ〕「水素透過金属膜を用いた副生ガスからの超高純度水素の精製」

〔発表者〕(同)ハイドロネクスト 代表社員 永井 正章 氏

〔概要〕大分には石油化学コンビナート等が存在し、水素を含むガスである副生ガスが、日々大量に発生しています。その量は全国の約1割にあたると言われ、現在の用途は主に燃料として利用されている。我々はこの副生ガスから燃料電池に使用できる超高純度水素を取り出すことにチャレンジしており、将来の水素社会に向けて、産学官で連携して地産地消エネルギーの利活用モデルとして新しい産業の創出につなげるべく取り組んでいます。

【バス見学】11月10日(金) 9:30～15:40 大分駅発着

〔見学ルート〕大分県農林水産研究指導センター 花きグループ(湯けむり発電)、湯山地熱発電所、



デロイトトーマツコンサルティング 庵原氏



(株)正興電機製作所 河野氏



九州計測器(株) 田中氏



(同)ハイドロネクスト 永井氏

第111回 エコ塾 in 熊本「地域におけるエネルギー・資源循環」

【開催日時】平成29年12月4日(月) 14:00～17:30

【開催場所】ホテル熊本テルサ 3階

【参加者数】講演会:55名 交流会:28名

【基調講演】

〔テーマ〕「竹の可能性を創造するバンブー事業～新たな竹産業の創造～」

〔講師〕バンブーマテリアル(株)代表取締役社長 山田 浩之 氏

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「コンクリートにアミノ酸！ 防災と環境保全の両立を実現する「環境活性コンクリート」」

〔発表者〕日建工学(株) 国土保全事業二課長 西村 博一 氏

〔概要〕竹林整備による竹の安定調達及び一次加工を行うバンブーフロンティア(株)と新建材等の製造販

売を行うバンブーマテリアル(株)及びエネルギー供給を行うバンブーエナジー(株)が有機的に連携することにより、「価値の連鎖」を生み出し、収益性の高いモデルの確立と地域経済循環性を固めるビジネスモデルです。さらに本事業により竹の需要が拡大することで南関町を中心とした県北エリアの放置竹林の整備が進み、竹の総合利活用と高付加価値を実現する新しいビジネスの確立を目指します。

〔テーマ〕「地域分散型の有機廃棄物分解装置の開発」

〔発表者〕シンエイメタルテック(株) 代表取締役 田原 和幸 氏

〔概要〕弊社が開発した装置は、有機廃棄物の処理費用を大幅に削減する装置です。熱分解処理に必要な熱の維持は、循環する排煙を洗浄して地場を印可し、熱を運びやすいガスに替えることにより継続するため、ガスや石油等の副燃料は一切不要です。投入した廃棄物は250分の1程度に減容します。装置から煙を出さないため環境にやさしい処理装置です。

〔テーマ〕「真空ガラス管形(ヒートパイプ形)太陽集熱器を用いた業務用太陽熱利用システムについて」

〔発表者〕富士エネルギー株式会社 取締役 亘 大樹 氏

〔概 要〕日本は、「地球一個」という環境制約の下、パリ協定の目標達成のため温室効果ガスの排出削減を目指し、再生可能エネルギーの導入促進や先進的な低炭素技術の普及・導入を進める必要があります。このような中、過去のオイルショックにおいて石油代替として受け入れられた「太陽熱利用」の役割が再び高まっています。今回、業務用導入事例を含め、化石燃料消費量と温室効果ガス排出削減に有効な「太陽熱利用」をご紹介します。

〔テーマ〕「バイオブラザの取り組みとこれから 」

〔発表者〕(株)熊本清掃社 総務主任 岩元 祐介 氏

〔概 要〕熊本清掃社は、全国に先駆けて「食品リサイクル」を進めています。多くの排出事業者様と協力しながら、生ごみを肥料化する事業をバイオブラザにて行っています。食品リサイクルの成果物である100%有機肥料「グリーンサプリ」は、農家様をはじめ、海外輸出も展開しており、今後ますます成長が見込める事業です。今回は、弊社の取り組みを通じた地域における資源循環の実際と、これからの展望を中心にご紹介しました。

〔テーマ〕「熊本大学における産学連携の取り組みの紹介 」

〔発表者〕熊本大学 熊本創生推進機構 准教授 緒方 智成 氏

〔概 要〕産学連携の制度や取り組み概要をご紹介しますとともに、環境・エネルギー分野やエコ関連の技術シーズの簡単な紹介もあわせて行います。

【バス見学】 平成29年12月5日(火) 9:00～16:30 熊本駅発着

〔見学ルート〕自然と未来(株) (熊本新港)、エコアくまもと、バンブープロジェクト事業地



バンブーマテリアル(株) 山田氏



日建工学(株) 西村氏



シンエイメタルテック(株) 田原氏



富士エネルギー(株) 亘氏



講演会風景

第112回 エコ塾 in 長崎(佐世保)『一次産業活性化に役立つ環境エネルギービジネス』

【開催日時】平成30年1月24日(水)14:00～17:30

【開催場所】ホテルリソル佐世保 マリンホール

【参加者数】講演会:50名 交流会:38名

【基調講演】

〔テーマ〕「平成30年度予算案における一次産業及び環境関連施策」

〔発表者〕九州経済産業局 資源エネルギー環境部 参事官 山田 英樹 氏
九州農政局 企画調整室 調整官 小林 寛之 氏

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「ICTの力で山から河川・農地・海洋地域まで、広域をモニタリングして地方創生を」

〔発表者〕(株)フォレストシー LP-WAVE 通信事業部 藤本 晶史 氏

〔概要〕国土の7割以上が森林で四方を海に囲まれた豊かな日本ですが、鳥獣被害・自然災害が近年急激に増加しています。対策の要である見廻りや危険情報の早期察知では、人口減少や高齢化、コストや通信圏外等の障壁があるが、独自の通信インフラ「LP-WAVE」は通信料不要で山岳地帯など携帯圏外での通信を実現。鳥獣被害対策から山林・河川・農地、沿岸部の養殖地域までモニタリング可能にし、自然環境及び農林水産業に貢献しました。

〔テーマ〕「木質バイオマス利用による循環型社会の形成について」

〔発表者〕(株)三基 エネルギー事業部 次長 内野 政美 氏

〔概要〕木質バイオマス利用の増加に伴い、燃料となる木質チップの供給が追い付かず、必要量の確保が困難になってきています。三基のバイオマスボイラーは温水、温風利用で幅広い用途に対応しており、今回新しいタイプのボイラーを研究し、燃料の形状に囚われることなく利用できる製品を開発。更なる地産地消のエネルギー利用による地域循環型社会の形成を目指します。

〔テーマ〕「物理的海棲生物付着防止塗料を活用した環境保全型養殖技術の展開」

〔発表者〕(株)西海養殖技研 研究開発担当 北原 研司 氏

〔概要〕物性のみを活用した「非溶出+ファウルリリースタイプ」の「事前防御技術」、漁場海底環境の自浄能力に優しい「環境保全技術」、経済的にも除去残滓などの二次廃棄物処理を生じない「廃棄物減量技術」「省力化技術」を紹介しました。

〔テーマ〕「一次産業活性化に役立つ環境エネルギービジネスの紹介」

〔発表者〕宮本電機(株) 常務取締役 篠崎 照夫 氏

〔概要〕漁業関連ビジネスにおけるLED集魚灯の開発・発売として、イカ釣り・魚釣漁船の従来(メタルハライド)型に代わる省電力高輝度型LED集魚灯の紹介。また、農業関連ビジネスにおいては、ハウス栽培の統合型制御システムとして、堀内組のマンゴーハウスでの取り組みの紹介しました。

【バス見学】平成30年1月25日(木)10:00 佐世保駅発、16:30 早岐駅着

〔見学ルート〕堀内組(植物工場)、佐世保工業高等専門学校(水中ロボット)、
ハウステンボス・ワッセナー地区 (オフグリッド実証場)



九州経済産業局 山田氏



九州農政局 小林氏



(株)フォレストシー 藤本氏



(株)三基 内野氏



(株)西海養殖技研 北原氏



宮本電機(株) 篠崎氏

第113回 エコ塾 in 佐賀『食品産業×環境エネルギービジネス』

【開催日時】平成30年2月8日(木) 14時00分～17時20分

【開催場所】佐賀市エコプラザ 2階

【参加者数】講演会：53名 交流会：22名

【基調講演】

〔テーマ〕「作物の遺伝子改変による代謝工学の可能性について」

〔発表者〕佐賀大学 農学部 教授 穴井 豊昭 氏

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「環境・地域・人にやさしい「ベジート」」

〔発表者〕(株)アイル 代表取締役 早田 圭介 氏

〔概要〕野菜をペーストにして乾燥させたシート食材「ベジート」は、環境・地域・人にやさしい食品です。原

料となる野菜は、市場に出回らない規格外を使用することで環境にやさしい。人口3万人の長崎県平戸市で新たな産業を起こすことで地域に貢献します。ベジートは、野菜の栄養分をほとんど含む体にやさしい食品です。19年の歳月をかけて開発した自慢の新食材を紹介しました。

〔テーマ〕「氷を用いた最新の鮮度保持技術」

〔発表者〕アイスマン(株) 取締役営業部長 井植 哲二 氏

〔概要〕冷蔵庫も空調もなかった時代から生鮮食品の鮮度保持に使われてきた「氷」。冷蔵庫や空調はもちろん冷凍庫まで広く普及している今日でもその「氷」は水産、畜産、農業など様々な分野に使用される。「氷」がどのように鮮度保持に使用されているか、最新の技術とともに紹介しました。

〔テーマ〕「農水産物輸送におけるコールドチェーン実態と鮮度保持への取組について」

〔発表者〕日本通運(株)福岡支店 九州営業部 次長 小林 俊裕 氏

〔概要〕産地から消費者の手元に届くまでの輸送、特に九州から海外へ輸出される際のコールドチェーンの実態と鮮度保持への取組概要について、2018年1月10日に実施した九州産青果物を香港に輸出した際の輸送実験結果を中心に紹介しました。

〔テーマ〕「朝倉市におけるメタン化食品リサイクルループ実証プロジェクトについて」

〔発表者〕シンコー(株) 取締役副社長 松野尾 淳 氏

〔概 要〕外食産業、食品小売業等から発生する食品廃棄物はリサイクル率が低く、大半が焼却処理されている。

弊社は事業系一般廃棄物である食品廃棄物を市町単位で収集し、小規模のメタン発酵プラントに受入れ発電、液肥供給を行う食品リサイクルループ事業化について検討を進めている。今年度、福岡県リサイクル総合研究事業化センターの助成制度を活用し、朝倉市における事業化について調査・研究を実施しています。



佐賀大学 穴井教授



(株)アイル 早田氏



アイスマン(株) 井植氏



日本通運(株) 小林氏



シンコー(株) 松野尾氏

第 114 回 エコ塾『平成 29 年度 K-RIP の活用事例及び成果』

【開催日時】平成 30 年 3 月 13 日(火) 15 時 30 分～17 時 20 分

【開催場所】ハイアットリージェンシー福岡 リージェンシー II

【参加者数】講演会：71名 交流会：39名

【開会挨拶】九州経済産業局 新井部長、K-RIP 情報交流部会 木村部会長

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「事例」講演会、展示会、海外展開 等」

〔発表者〕株式会社福岡建設合材 企画・営業部長 西里 和人 氏

〔概 要〕弊社は産廃灰処理による無害化及び製品化をパッケージにした「RUS システム」を事業化し、広域にパートナー企業を募ることで地域の繁栄に繋げてゆくビジネスモデルを展開している。K-RIP による「びわ湖環境ビジネスメッセ」での出展支援や、海外展開（台湾 ミッション、タイミッション参加）、エコ塾でのプレゼン等活用事例、成果について紹介しました。

〔テーマ〕「事例」展示会、専門家派遣、講演会 等」

〔発表者〕株式会社宮防 新規事業部 部長 荻原 英範 氏

〔概 要〕弊社は、1971 年防水工事業として設立し、近年は地球温暖化に向けた自社開発の遮熱塗料を活用した暑熱対策、環境改善、生産性向上事業に取り組んでいます。

K-RIP による「農業ワールド」での出展支援や、専門家派遣、エコ塾でのプレゼン等の活用事例、成果について紹介しました。

〔テーマ〕「事例」 調査事業、展示会、海外展開 等」

〔発表者〕株式会社アステック入江 FM 事業部 マネージャー 高橋 宏幸 氏

〔概 要〕 弊社は、創業より 108 年、製鉄事業に携わり、そこから派生した塩化鉄のリサイクル事業を行っている。K-RIP による塩化鉄の一次産業分野における調査事業、「農業ワールド」での出展支援や海外展開（タイミッション参加）、エコ塾でのプレゼン等活用事例、成果について紹介しました。

〔テーマ〕「事例」 K-RIP 助成金、海外展開、広域連携 等」

〔発表者〕株式会社システム・ジェイディー 代表取締役 伊達 博 氏

〔概 要〕 弊社は半導体分野で蓄積した故障診断技術をエネルギー分野における太陽発電システムに応用した事業を展開している。K-RIP プロジェクトの採択、アライアンスマッチングへの参加、海外展開（台湾ミッション参加）、エコ塾でのプレゼン等活用事例、成果について紹介しました。



(株)福岡建設合材 西里氏



(株)宮防 荻原氏



(株)アステック入江 高橋氏



(株)システム・ジェイディー 伊達氏

V. 個別プロジェクト支援事業

1. K-RIP 環境エネルギープロジェクト研究会の開催

市場拡大に向けた新しいビジネスモデルの提案・実証や再生可能エネルギー製品・システム開発を目指す「環境エネルギープロジェクト研究会」を新たに企画しました。これは、環境エネルギー関連産業において活躍を目指し、取り上げるべき研究課題を持ち主体的に活動を実施する幹事企業と、その研究テーマを公募により、今年度は下記の3テーマを採択、下記の通り、個別プロジェクト研究会を実施しました。

(1) アグリトピア研究会の開催報告：

【幹事会社】 グリーンリバーホールディングス 株式会社

【テーマ】 再生可能エネルギーや IoT 機器を利用した水耕農業システムのモデル構築

第1回アグリトピア研究会

【開催日時】 平成 29 年 9 月 20 日（水）13: : 30～16 : 00

【開催会場】 (公財) 九州経済調査協会 会議室(電気ビル共創館 5F)

【参加者数】 12 名

【内 容】・善導寺における実証プロジェクトの課題

- ・本年度の検討事項に関する意見交換
- ・実証プロジェクトの成果の設定
- ・IoT の搭載・ビジネスモデルの構築
- ・ファンドとのアライアンス構築



平成 29 年度 第1回アグリトピア研究会風景

第2回アグリトピア研究会

【開催日時】 平成 29 年 12 月 6 日（水）13: : 45～15 : 45

【開催会場】 グリーンラボ株式会社 善導寺ファーム（久留米市善導寺町島 650）

【参加者数】 13 名

【内 容】・善導寺ファーム見学会

- ・八幡平プロジェクトに関する進捗説明と意見交換
- ・野菜収量の予測、実績
- ・プロジェクト全体のコスト

第3回アグリトピア研究会

【開催日時】平成30年3月7日（水）13:45～15:45

【開催会場】（公財）九州経済調査協会 会議室（電気ビル共創館5F）

【参加者数】13名

- 【内 容】・事業プロジェクトのブランド化
- ・八幡平プロジェクトの事業性検討
 - ・九州での展開
 - ・次年度に向けた対応

（2）張架式小型風力発電研究会の開催報告

【幹事会社】テス・エンジニアリング株式会社

【テーマ】小型風車8基を連装した8.8kW張架式小型風力発電機の実証試験と、商品化に向けた課題抽出、改良を実施（場所：福岡市西区今津）

第1回張架式小型風力発電研究会

【開催日時】平成29年9月26日（火）13:00～15:00

【開催会場】九州産業技術センター3F 会議室

【参加者数】15名

- 【内 容】・張架式小形風力発電設備及び同事業の説明
- ・市場性の検討、意見交換
 - ・開発機器の内容、発電量、導入コスト
 - ・独立電源用途での有望な市場の検討
 - ・FIT対応機としての市場性の検討
 - ・発電量、導入コストを踏まえた販売価格（概算）の検討



第2回 張架式小型風力発電研究会

【開催日時】平成30年1月17日（水）12:00～15:00

【開催会場】西部地域交流センター 会議室3F （福岡市西区西都2-1-1）

【参加者数】15名

- 【内 容】・実証実験場の見学・説明
- ・技術課題、市場性に関する意見交換
 - ・張架式小型風力発電設備の技術課題と対応（機器の耐久性、発電効率）
 - ・開発機器の実際の発電量、導入コスト
 - ・発電量、導入コストを踏まえた販売価格（概算）の検討

(3) 太陽光発電のO&M、リユース、リサイクル研究会

【幹事会社】(一社) 太陽光発電アフターメンテナンス協会

【テーマ】太陽電池モジュール リユース事業について

第1回太陽光発電のO&M、リユース、リサイクル研究会

【開催日時】平成29年12月7日(木) 13:00~15:00

【開催会場】(一財)九州産業技術センター 会議室3F

【参加者数】14名

【内 容】太陽光発電設備のメンテナンスの実態と課題
太陽光発電設備の不具合事例

【意見交換】自社のO&M事業の状況
太陽光発電設備の不具合事例・対処事例
発電事業者からの要望、O&M事業の課題



第2回太陽光発電のO&M、リユース、リサイクル研究会

【開催日時】平成29年12月7日(木) 13:00~15:00

【開催会場】(一財)九州産業技術センター 会議室3F

【参加者数】9名

【内 容】太陽電池モジュール リユース事業について
(説明:ネクストエネルギー・アンド・リソース)

【意見交換】リユース事業に関する質問
九州での連携可能性について

第3回太陽光発電のO&M、リユース、リサイクル研究会

【開催日時】平成30年2月23日(水) 15:30~17:30

【開催会場】(一財)九州産業技術センター 会議室3F

【参加者数】10名

【意見交換】太陽光パネルリサイクルの取り組みに関する質問
九州内外での連携可能性について

2. K-RIP 正会員向けセミナーの開催

～ 太陽光発電市場の未来と新たなビジネスチャンス ～

太陽光発電市場への参入促進を図るため、当市場における現状、今後の展開方向などについての講演会を開催しました。

【開催日時】平成 29 年 10 月 4 日（水）13:30～16:30

【開催会場】博多バスターミナルビル 9 階大ホール

【参加者数】81 名

【主催】九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP）

【テーマ】太陽光発電市場の未来と新たなビジネスチャンス

【プログラム】

【基調講演】「世界潮流となった太陽光発電システム」 13:30～14:30

【講師】(株) 資源総合システム 代表取締役 一木 修 氏

【事例紹介①】「太陽光発電におけるメンテナンスの手法と効果」 14:30～15:10

【発表者】(株) 新出光ファシリティーズ 常務取締役 小野 正彦 氏

【事例紹介②】「太陽光発電所のセカンダリー市場と資産評価のポイント」 15:10～15:50

【発表者】三井住友ファイナンス&リース(株) 環境エネルギー開発部長 浅井 淳史 氏

【事例紹介③】「太陽光発電ビジネスの営業戦略とシステムコスト評価」 15:50～16:30

【発表者】ヨーロッパ・ソーラー・イノベーション(株) 代表取締役 土肥 宏吉 氏



基調講演 一木 修 氏



太陽光発電セミナー風景

3. 専門家派遣事業

支援企業の個別課題に応じて、法律、税務、財務、知財、技術開発、マーケティング等、各分野の専門家を派遣して具体的な課題解決を図り、各プロジェクトの円滑な推進を図った。

平成 29 年度は、下記の 2 社に専門家を派遣し、課題解決の相談・指導を実施しました。

派遣月	派遣先社名	内容	専門家
11 月	(株) 日本リモナイト	青森県で排出される中和燐物を利用した脱硫化水素剤の製造拠点設置に関する調査	橋本健次氏（有）エムケイブレーン
12 月	(株) くりんか	ノウハウ・ライセンス契約についての相談： 海外における模倣や営業秘密保護の方法	田中雅敏氏（明倫国際法律事務所）

VI. 平成 29 年度 K-RIP プロジェクト完了報告会

K-RIP プロジェクトは、K-RIP 会員の環境・リサイクル関連分野における産業の振興、新事業の創出を目的とし、①可能性調査事業、②製品開発事業、③既存製品改良事業、④その他事業における調査および研究に係る助成を行う事業です。

平成 29 年度は「K-RIP プロジェクト」の選考会（プレゼンテーション）と、プロジェクト協議会を開催し、その結果 5 社を採択しました。採択企業は、平成 29 年 7 月 1 日から平成 30 年 2 月末まで申請内容に基づきプロジェクトを実施し、完了しました。

1. K-RIP プロジェクト選考会（審査会）

【開催日時】平成 29 年 6 月 16 日（金）13:00～18:00

【開催場所】（一財）九州産業技術センター 3 階会議室

【採択企業】応募 10 社より審査の上、平成 29 年度は 5 社を採択

企業名	プロジェクト名
(株) システム・ジェイデー	台湾における「SOKODES GF」を活用した PV 保守ビジネス事業化可能性調査
中島物産 (株)	ベトナムにおけるエビ養殖生産性向上に資するファインバブル装置開発
(株) ケミカルクリエイト	可視光応答型光触媒を活用した多機能な室内環境改善シートフロアの開発
ライスグローバルビジョン (株)	インドネシアにおける海水淡水化装置を活用した事業の可能性調査
(有) 福岡窯材	再生石膏と陶磁器破砕片による低環境負荷型藻礁の製品開発事業

2. K-RIP プロジェクト完了報告会を開催

【開催日時】平成 30 年 3 月 13 日（火）午後 13 時～15 時 20 分

【開催場所】（一財）九州産業技術センター 3 F 会議室

【発表企業】平成 29 年度 K-RIP プロジェクト採択企業 5 社

【出席者数】15 名、ビジネス創出部会松尾部会長ほかビジネス部会幹事の皆様、オブザーバー：九州経済産業局、K-RIP 事務局の関係者



K-RIP プロジェクト選考会(6 月)



K-RIP プロジェクト完了報告会(3 月)